

みずほCustomer Desk Report 2023/08/31号 (As of 2023/08/30)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	146.06
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	146.01	1.0870	158.67	1.2638	0.6477
SYD-NY High	146.53	1.0945	159.76	1.2745	0.6522
SYD-NY Low	145.56	1.0856	158.57	1.2620	0.6450
NY 5:00 PM	146.23	1.0925	159.76	1.2719	0.6476
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,890.24	37.57	日本2年債	0.0300%	0.0200%
NASDAQ	14,019.31	75.55	日本10年債	0.6500%	0.0100%
S&P	4,514.87	17.24	米国2年債	4.8808%	▲0.0125%
日経平均	32,333.46	106.49	米国5年債	4.2656%	▲0.0087%
TOPIX	2,313.38	9.97	米国10年債	4.1110%	▲0.0068%
ソコ日経先物	32,395.00	▲30.00	独10年債	2.5340%	0.0250%
ロンドンFT	7,473.67	8.68	英10年債	4.4225%	0.0040%
DAX	15,891.93	▲38.95	豪10年債	4.0840%	▲0.0390%
ハンセン指数	18,482.86	▲1.17	USDJPY 1M Vol	9.17%	▲0.11%
上海総合	3,137.14	1.25	USDJPY 3M Vol	9.04%	▲0.06%
NY金	1,973.00	7.90	USDJPY 6M Vol	9.03%	▲0.10%
WTI	81.63	0.47	USDJPY 1M 25RR	▲0.82%	Yen Call Over
CRB指数	281.15	1.36	EURJPY 3M Vol	9.08%	▲0.14%
ドルインデックス	103.16	▲0.37	EURJPY 6M Vol	9.33%	▲0.12%

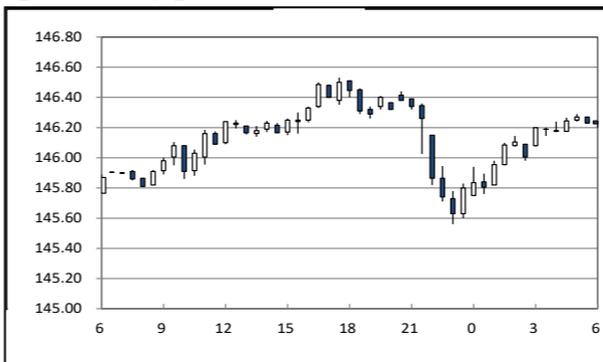
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月30日	18:00	欧 消費者信頼感・確報	8月 -16	-
	18:00	欧 鉱工業信頼感指数	8月 -10.3	-9.9
	18:00	欧 サービス業信頼感指数	8月 3.9	4.6
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	8月 0.3%/6.1%	0.3%/6%
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 177k	195k
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	7月 -0.1%	-0.3%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q S 2.1%	2.4%
	21:30	米 個人消費	2Q S 1.7%	1.8%

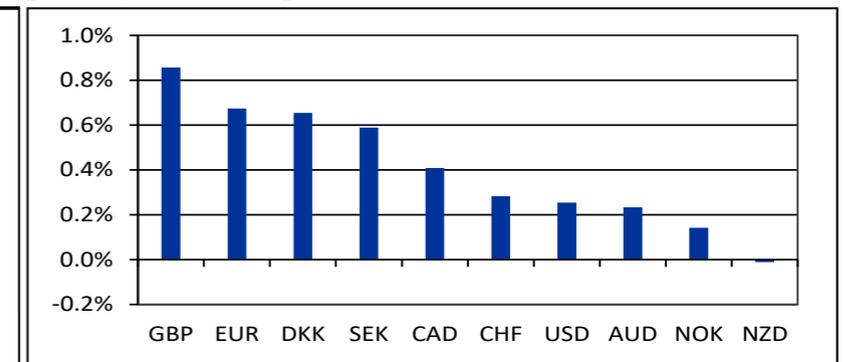
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月31日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	7月 -1.4%/-1.4%	2.4%/0%
	10:30	中 製造業PMI	8月 49.2	49.3
	10:30	中 非製造業PMI	8月 51.2	51.5
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	8月 0.8%/4.6%	0.1%/4.3%
	16:15	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	18:00	欧 CPI速報値(前月比/前年比)	8月 5.1%/0.4%	5.3%/-0.1%
	18:00	欧 失業率	7月 6.4%	6.4%
	20:30	欧 ECB議事要旨	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	26-Aug 235k	230k
	21:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	7月 0.2%/3.3%	0.2%/3.0%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	7月 0.2%/4.2%	0.2%/4.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-146.80	1.0860-1.0980	158.90-159.90

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は、146円を挟み上下50銭のレンジ展開。5・10日(ゴト一日)における実需ドル買いや株式市場の堅調推移、ロンドン時間入り後のユーロ円の上昇などからロンドン時間序盤にかけて146.53まで上昇するも、NY時間朝方に米8月ADP雇用統計や米2Q GDPおよび個人消費の改定値が予想を下振れる結果に145.56まで急落。しかし、その後は米7月中古住宅販売仮契約が前月から改善した結果を受けて切り替えし、米金利の低下幅縮小を眺めつつ結局146円前半まで戻す展開となった。本日ドル円相場は上昇を予想。前日発表された米国求人件数に加え昨日はADP雇用統計も市場予想を下振れ、米国雇用状況の緩みが意識される場面ではあるが、本命の8月雇用統計を週末に控え様子見色強めの状況は変わらず。本日は月末実需フローにサポートされやすく、またNY時間に発表される米7月PCEコアデフレーター(前年比)において鈍化がみられなければドルの一段上昇の可能性もみておきたい。

東京	東京時間のドル円は146.01レベルでオープン。前日の予想を下回る米経済指標を受けて145円台まで下落していたものの、米金利上昇の流れにじりじりと買い戻しが進む展開となった。結局、146.24レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、146.24レベルでオープン。午後に米指標を控えてか全般に動意薄の展開に。146.24-53円で推移し146.35レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2638レベルでオープン。朝方、英7月の住宅ローン承認件数が予想を下回るも、欧州債利回りが域内、インフレ指標の高止まりを受けて上昇しユーロが買われるのに連れて1.2670まで買われる。結局1.2657レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は145円台後半でスタート。前日低下していた米金利が上昇する展開を受けてドル円も買い戻され、146.35レベルでNYオープン。朝方に発表された米8月ADP雇用統計指数が予想を下回り、発表直後は146円丁度付近まで売られるも、その後直ぐに146.30まで戻す。しかし、続いて発表された米第2四半期GDP(改定値)、コアPCE価格指数(改定値)が予想より悪化した内容となり、再びドル売りが優勢となり、145.56まで続落する。しかし、クロス円の堅調推移にサポートされ、その後は下げ渋り、146円台後半まで反発。午後は円売り優勢の展開が続く中、146.27まで上げ幅を拡大。結局、146.23レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。じり安での推移が続き、1.0856まで値を下げる場面も見られたが、欧州主要株式市場の反転上昇を好感したユーロ買いが進み、1.0879レベルでNYオープン。午前中は先述の冴えない米経済指標の結果を受け、1.09台を回復し、1.0945まで値を戻す。しかし、それ以上の上値追いは限定的で、次第に反落し、1.0920付近まで下落する。午後は特段注目材料が見当たらない中、1.0920近辺を中心とした推移が続き、1.0925レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・南野